

要 望 書

地域を守る総合的な 土砂災害対策の推進について ～球磨川水系（川辺川）直轄砂防事業推進～



泉町 山ノ津谷川（平成17年 台風14号被災）

令和3年11月
熊本県八代市

球磨川水系（川辺川）直轄砂防事業推進について

球磨川水系川辺川砂防事業につきましては、特段の御理解と御高配を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

球磨川は、流域面積、流路延長ともに九州で第三位の大河であり、日本三急流の一つに数えられる急流峡谷を形成し、その流域である八代市は、古来より球磨川水系の織り成す豊かな自然と、その自然に育まれた独自の文化、自然の恵みを基盤とした各種産業によって発展を遂げてまいりました。

しかし、その恵み豊かな球磨川は、一方では幾度となく尊い人命や貴重な財産を奪ってきた歴史をもつ「暴れ川」でもあります。

この球磨川の支川、川辺川の最上流域に位置する八代市泉町は、平成17年の台風14号では、甚大な土砂災害により道路が寸断され、災害直後においては、5地区36世帯103名が孤立する事態となりました。当該地域では、これまでもこのような土砂災害に見舞われており、地域住民の不安は未だ解消されていない状態であります。

平成17年の災害以降、砂防堰堤が重点的に整備され、平成29年度からホンノウ谷川砂防堰堤に着手されているほか、令和2年度からは縦木川第3砂防堰堤の事業に着手し、早期完成に向けて事業促進を図られているところです。

砂防堰堤の整備は、生命、財産はもとより、地域にとって重要な道路などの社会基盤を土砂災害から保全し、熊本方面や人吉球磨方面への物流や人流の活性化

にも寄与しております。

つきましては、流域住民が安心して生活できるよう、引き続き、直轄砂防事業の推進及び予算の確保をお願いいたします。

また、八代市泉町においては、深層崩壊など大規模土砂災害が危惧されるため住民の災害時における警戒避難に関する情報提供や平常時における防災訓練などの技術的支援についても特段の配慮をお願いします。

さらに、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」後の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を確実に推進していただくと共に、様々な自然災害に備えるため、継続して予算を確保し、計画的に国土強靱化を推進していただくようお願いいたします。

令和3年11月24日

八代市長 中村博生